

## 2 地域福祉活動推進部門

### (1) 福祉教育・啓発活動

#### 広報・啓発紙の発行

種 類	実施日	人数等	内 容
社協だより	7、12、3月		1 第141～143号 市内全戸配布 2 従来の4頁から6頁に増やすとともに、表表紙と裏表紙をカラー刷りとした。
点字版社協だより	7、12、3月	対象者 25名	点訳サークル「きつつき」に作成を委託し、市内視覚障害者の希望者に配布した。

#### 地域福祉セミナーの開催

回 数	実施日	人数等	内 容
1回目	11月21日(金)	17名	1 参加者交流 2 講義 直方の歴史と文化について (講師) 歴史ボランティア・直方を語る会「とおれんじ」 代 表 増井 幸憲 氏
2回目	12月7日(日)	28名	心をつなぐ人と人のボランティア活動 (講師) 北九州市障害福祉ボランティア協会 事務局 黒岩 淳 氏
3回目	12月18日(木)	18名	介護予防活動について(見学) (説明) 新入にこにこクラブ(川東公民館) 世話人 田中 玲子 氏
4回目	1月9日(金)	19名	おもちゃ図書館って何? (講師) 福岡県立大学付属研究所 生涯福祉研究センター 助手(おもちゃ図書館たがわ代表) 中藤 広 氏
5回目	1月23日(金)	20名	精神障害者の作業所見学 (説明) 特定非営利活動法人 なおみの会 理事長 立山 利博 氏
6回目	2月6日(金)	14名	あなたならどうする?～防災意識の向上について (講師) 直方市市民協働課協働推進係
7回目	2月20日(金)	17名	シニアライフをいきいき送るには ～新しい地域活動の始め方～ (講師) 特定非営利活動法人 N A P 福岡 代表 馬場 邦彦 氏
8回目	3月6日(金)	11名	グループワーク～これからの地域福祉活動～

社会啓発行動

事業名等	実施日	人数等	内 容
第33回よこいと運動会実行委員会	4月25日(金)	19名	1 実行委員長の選出 2 日程、会場、競技内容、役割分担等について
第33回よこいと運動会	6月1日(日)	24団体、個人 357名	大玉ころがし、アベック風船割りなど 会場：直方市体育館
第33回よこいと運動会反省会	6月26日(木)	10名	
福祉まつり実行委員会	8月28日(木)	21名	1 実行委員長の選出 2 日程、会場、内容、役割分担等について
福祉まつり	10月26日(日)	950名	参加団体：21団体 協力団体、企業：15団体、2社 協賛企業：18社
福祉まつり反省会	11月12日(水)	14名	
日曜出合いの広場「もちつき会」	12月21日(日)	60名	協力：直方市ボランティア連絡協議会

実習生・視察研修等の受け入れ

学校名等	期 間	人数等	内 容
西南女学院大学	6月1日(日) ～17日(火)	1名	社会福祉援助技術現場実習
	11月4日(火) ～19日(金)	1名	社会福祉援助技術現場実習
大和青藍高等学校	7月15日(火) ～ 10月15日(水)	14名	訪問介護実習
麻生医療福祉専門学校	7月22日(火) 8月20日(水)	1名	訪問介護実習
鞍手竜徳高等学校	10月16日(木) ～30日(木)	3名	訪問介護実習
民生委員児童委員協議会 心身障害部会	11月11日(火)	21名	民生委員と社会福祉協議会の連携について

( 2 ) 調査・研究

事業名	実施日	人数等	内 容
社協だよりの活用 によるニーズの把握	3月		3月1日付発行の第143号において、 読者に情報提供を呼びかけた。
父子世帯実態調査			市が策定している直方市次世代育成支援 行動計画（平成17～21年度）の次期 計画策定のためのアンケート調査が3月 に実施されたため、当調査結果を活用す ることとした。（平成21年度継続実施）

( 3 ) 小地域福祉活動の推進、支援

事業名	実施日	人数等	内 容
校区社協活動 への助成			西・南・新入・下境・感田の5校区社協 に活動費を助成した。
福祉入門教室 (福祉人材バンク及び 西校区社協との共催)	12月14日(日) 2月14日(土)	55名 30名	救急救命を学ぶ 講師：直方市消防本部 救急救命士 会場：山部一区公民館ほか
福祉入門教室 (福祉人材バンク及び 感田校区社協との共催)	11月23日(日) 2月11日(水)	117名 23名	「高齢者の運動、体力について」 講師：小野外科胃腸科医院 青木真一氏 「食と健康」 講師：大和青藍高等学校 調理科教諭 矢野悦子氏 「福祉員研修会」 会場：感田三区公民館

(4) ボランティアセンターの運営

業務名	実施日	人数等	内容
ボランティアルームの提供	通年		提供件数：145件
ボランティア活動の登録・斡旋	通年		相談件数：44件 個人登録数：74名 団体登録数：17団体
第34回直方ボランティアのつどい	3月20日(金)	45名	直方市ボランティア連絡協議会との共催による風船バレーボール及び交流会 会場：直方西小学校体育館ほか
ボランティア活動保険料の助成	通年	延べ234名	年間保険料一人あたり260円のうち、100円を助成した。
活動資材の整備・貸し出し	通年		点字タイプ、綿菓子機、餅つき道具、アイマスク等の貸し出しが22件あった。
直方市ボランティア連絡協議会の支援	通年		定例会での情報提供や同協議会主催行事に関する連絡調整等を行った。
高等学校「ボランティア講座」の指導援助	5月～10月	10名	筑豊高等学校3年生の課題研究としてボランティア講座を選択した生徒に対する指導援助を行った。 協力：直方市身体障害者福祉協会聴覚部会 直方手話の会「こぶしの会」
小学校校外学習支援	10月21日(火)		植木小学校4年生の生徒に対して、障害当事者の講演並びに車いす体験を実施した。

(5) おもちゃ図書館の運営

業務名	実施日	人数等	内容
視察研修	4月30日(水)	13名	スタッフ会(ボランティアスタッフ)と共に先進地のおもちゃ図書館を視察した。 視察先：おもちゃ図書館ピノキオ(若松区)
	5月8日(金)	12名	視察先：おもちゃライブラリー(小倉南区)
	5月27日(火)	3名	スタッフ会会員が、布の絵本作成グループ「もめんの会」を視察した。
	6月6日(土)	3名	視察先：おもちゃライブラリー(小倉南区)
通常利用	7月29日(火) ～	206名	月平均：22.9名 開館日数：42日 毎週火曜日、11月から第2、4土曜日も開館
おもちゃの貸し出し	11月～	90点	月平均：18点

( 6 ) 当事者組織・団体、社会福祉関係団体の支援

業務名	実施日	人数等	内 容
事業に対する助成		21 団体	共同募金 B 枠配分金を活用
小規模作業所の援助			なおみの会共同作業所への活動費の援助 (共同募金 A 枠配分金を活用)
ふくしバスの運行	通 年	延べ 774 名	利用件数：39 件
障害者問題を考える直方市連絡会議への協力	通 年		定例の常任委員会での情報提供や当団体主催事業に関する連絡調整等を行った。

( 7 ) 赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動への協力と実施

事業名	実施日	人数等	内 容
赤い羽根共同募金街頭募金	10月 5日(日)		福岡県共同募金会直方市支会が実施する街頭募金に協力した。
福祉まつり	10月26日(日)		赤い羽根共同募金啓発用パネルの展示・紹介やイベント募金に協力した。
歳末たすけあい配分委員会	12月24日(水)	7名	平成20年度歳末たすけあい募金配分計画について
	1月16日(金)	7名	平成20年度歳末たすけあい募金配分計画について
歳末見舞品贈呈事業	12月	1,445名	民生委員児童委員協議会の協力により、70歳以上の独居者(生活保護世帯を除く)に対して風呂用石鹸を贈呈した。
地域支援事業		11校区	前年度歳末募金の一部を原資として、各校区の事業(行事)に対して助成を行った。

### 3 福祉サービス利用支援部門

(1) 障害者相談支援センター「るーぷる」の運営(直方市・宮若市・鞍手町・小竹町2市2町受託事業)

事業名	実施日	人数等	内容
相談(面接・電話・訪問・メール)	通年	延べ 1,429件	身体：117件 精神：1,149件 知的：149件 その他：14件
当事者相談 (ピアカウンセリング)	第1、3土曜日 第2、4木曜日	延べ 71名	肢体、視覚、聴覚、内部疾患、精神の5分野で当事者(ピアカウンセラー)の協力を得て実施した。(全64回)
知的障害者相談	随時	延べ 10名	生活全般のことについて継続して相談を受けた。
サービス利用計画の作成	通年	2名	障害者自立支援法に基づく福祉サービス等の利用に関する計画作成及びモニタリング
交流広場「7番地」	通年	延べ 912名	るーぷる利用者の交流の場 身体：59名 精神：677名 知的：176名
交流行事	11月16日(日)	28名	バスハイク(響灘緑地グリーンパーク)
広報誌「るーぷる」 の発行	6、9、12、3月	4回	第7号～10号を発行し、直鞍2市2町の公的施設や関係団体等に配布
見学説明会	6月28日(土)	22名	交流広場「7番地」を解放するとともに、初めて来所された方に業務案内を行った。
ピアカウンセラー 研修会	4月17日(水)	12名	ピアカウンセリングについて考える 講師：北九州市立大学 文学部 人間関係学科 准教授 小賀久先生
	9月9日(火)	10名	ピアカウンセリングの場の持ち方について考える 講師：北九州市立大学 文学部 人間関係学科 准教授 小賀久先生
ピアカウンセラー会議	3月19日(木)	9名	実績報告及び21年度のピアカウンセリングの考え方について
運営協議会	6月23日(月)	11名	1 委員補充による新任委員委嘱状交付 2 平成19年度事業報告及び平成20年度事業計画について
	2月24日(火)	12名	1 任期切れに伴う新委員委嘱状交付 2 会長・副会長の選任について 3 平成20年度事業報告及び平成21年度事業計画について
支援センター 連絡会への参加	月1回		2市2町行政、障害者支援センター「すきっぷ」「ファイン」及び福岡県央障害者就業・生活支援センターとの連絡会に参加した。

ケア会議等への参加	随時		精神科病院や社会復帰施設等からの要請に応じて参加した。
その他	5月～10月		宮若市、直方市の福祉まつりで、るーぷるの紹介を行った。

(2) 日常生活自立支援事業の生活支援員業務 (旧地域福祉権利擁護事業、県社協事業の一部受託)

業務名	実施日	人数等	内容
金銭管理サービス	通年	2名	事業者である福岡県社会福祉協議会との契約により、本会職員1名が生活支援員として金銭管理サービスを実施した。 利用件数：24件

(3) 認知症相談の実施

事業名	実施日	人数等	内容
認知症相談	第4水曜日	3名	協力：認知症の人と家族の会直方

(4) 直方市障害者在宅福祉サービス状況調査業務 (直方市からの一部受託)

事業名	実施日	人数等	内容
住みよか事業	通年	1名	利用希望者に対する訪問調査並びに申請の代行を行った。
日常生活用具等給付事業	通年	2名	同事業のうち、住宅改修に係る部分について、申請の代行を行った。

( 5 ) 生活福祉資金貸付業務 ( 県社協事業の一部受託 )

業務名	実施日	人数等	内 容
相 談	通 年	5 4 件	生活費 2 8 件 、 資格取得費 5 件 生業費 7 件 、 療養費 4 件 修学費 5 件 、 その他 5 件
貸 付	通 年		承認 7 件 決定額合計 2,328,000 円 < 内訳 > 更生資金 ( 技能修得費 ) 500,000 円 修学資金 ( 修学費、就学支度費 ) 438,000 円 療養・介護資金 ( 療養費 ) 390,000 円 緊急小口資金 ( 4 件 ) 400,000 円 離職者支援資金 600,000 円 不承認 2 件 更生資金 ( 生業費 ) 申込金額 2,800,000 円 緊急小口資金 申込金額 100,000 円
償 還			元金 1,295,280 円 貸付利子 92,580 円 延滞利子 255,000 円
	6 月 2 4 日 ( 水 )	6 件	県社協担当職員 2 名と共に、滞納者 6 人の自宅を訪問し、うち 4 人に対して償還指導を行った。

#### 4 在宅福祉サービス部門

( 1 ) 移動送迎支援事業

業務名	実施日	人数等	内 容
移 送 サ ー ビ ス	通 年	延べ 245 名	登録者数：4 2 名 利用件数：4 4 7 件
運 営 委 員 会	3 月 1 8 日 ( 水 )	6 名	1 平成 2 0 年度事業報告について 2 平成 2 1 年度事業について

( 2 ) 配食サービス事業

事業名	実施日	人数等	内 容
配 食 サ ー ビ ス ( 独 自 事 業 )	毎週水曜日	登録者 1 2 名	昼食を宅配 調理：頓野「花仙」 配達：ボランティア ( 5 名 ) 延べ配食数：4 2 3 食
直 方 市 配 食 サ ー ビ ス 事 業 ( 市 委 託 事 業 )	月 ~ 土曜日	延べ 1,966 名	夕食 ( 弁当 ) を週 6 回 ( 月・土 ) の範囲で宅配 調理及び配達：(株)ランチサービス (有)景光園 延べ配食数：3 4 , 4 7 1 食

(3) 車いすの貸し出し

事業名	実施日	人数等	内容
車いすの貸し出し	通年		貸し出し件数：31件 述べ貸し出し数：78台

(4) 介護サービス事業

居宅介護等事業

事業名	実施日	人数等	内容
ケアプランサービス	通年	延べ306名	居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう居宅サービス計画を作成し、居宅サービス事業者との連絡調整を行った。
ホームヘルプサービス (介護保険)	通年	延べ187名	介護予防として、要支援1及び2の被保険者に対して、介護予防サービス計画に沿って介護予防訪問介護サービスを行った。 訪問延べ回数：1,277回
		延べ204名	要介護1～5の被保険者に対して、居宅サービス計画に沿って訪問介護サービスを行った。 訪問延べ回数：2,838回
ホームヘルプサービス (障害者自立支援法)	通年	延べ181名	在宅障害者の生活援助のため居宅介護サービスを行った。 訪問延べ回数：2,016回

直方市受託事業

事業名	実施日	人数等	内容
要介護認定調査事業	通年	延べ88名	要介護認定申請者に対して訪問調査を実施した。
生活管理指導員派遣事業	通年	延べ151名	介護保険認定で自立と認定されたものの、身体上又は精神上的の障害等により日常生活を営むのに支障のある高齢者の属する世帯に対して生活管理指導員を派遣した。 延べ利用時間数：510時間
移動支援事業 (ガイドヘルプ)	通年	延べ69名	

## 研 修

事業名	実施日	人数等	内 容
介護事業所従事者研修	4月11日(金)	11名	ボディメカニクスについて 講師：介護老人保健施設サンフラワーズ北九州 作業療法士 松尾 恵美 氏
	5月24日(土)	2名	介護支援専門員協議会主催の介護保険学習会に参加した。 会場：直方市中央公民館
	5月28日(水) 9月19日(金)	1名	福岡県主催の集団指導に参加した。 会場：ウェルとばた(北九州市)
	11月22日(土)	3名	高齢者の「食」と「排泄」に関する勉強会主催の勉強会に参加した。 会場：鞍手町中央公民館

## 5 総合福祉センターの運営

### (1) 一般利用等

事業名	実施日	人数等	内 容
一般利用	通年	延べ 25,050名	月平均：2,088名 日平均：85名
福祉バスの運行	通年	延べ 9,773名	運行日数：293日 月平均：813名 日平均：33名

### (2) 健康増進活動の推進

事業名	実施日	人数等	内 容
健康相談	第2火曜日 第4金曜日	延べ 34件	筑豊病院及び西尾病院の協力により実施した。
にこにこ教室	毎週水・木・金曜日	延べ 1,674名	健康体操やレクリエーションなど
	10月13日(月)	16名	百道浜へバスハイク

( 3 ) 教養娯楽活動の推進

事業名	実施日	人数等	内 容
会議室等の貸し出し	通 年	6 2 回 1,619 名	
趣味の会活動支援	通 年		囲碁部、舞踊部、園芸盆栽部、俳句部へ活動費を助成した。
夏の演芸大会	6月25日(水)	75名	カラオケ、踊りなど
秋の演芸大会	11月 5日(水)	80名	
春の演芸大会	3月17日(月)	70名	

( 4 ) 運営の抜本的見直し

事業名	実施日	人数等	内 容
総合福祉センター 運営見直し委員会	6月20日(金)	10名	1 委員長、副委員長選出 2 諮問事項について
	7月23日(水)	9名	1 報告事項 入館者の意向調査結果について 報告書の概要説明 2 検討事項 運営のための財源の見通し等について 入浴事業及び福祉バス運行継続可否の判断について 今後の新たな経営・運営戦略について
	8月25日(月)	10名	検討及び取りまとめ

6 その他

行政施策への参加・参画

事業名	実施日	人数等	内 容
第4期直方市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定検討委員会	6月 5日(木) 他5回	1名	第3期計画の進捗状況の確認及び第4期計画の策定について ほか
直方市障害者施策推進協議会	5月16日(火) 12月 5日(金)	1名	第2次直方市障害者福祉基本計画の進捗状況の確認等について ほか
一人暮らし高齢者等見守り事業	7月 3日(木)	3名	県主催の説明会に出席
	7月18日(金)	3名	市主催の担当者会議に出席
鞍手保健所運営協議会 精神保健福祉部会	12月 8日(月)	1名	平成20年度精神保健福祉事業報告、平成21年度同事業計画 ほか